

特集

大学誘致運動から20年

平成3年から誘致運動を進め、平成8年に産声を上げた秋田桂城短期大学は、その後4年制の秋田看護福祉大学となり、就職率100%を誇る大学に発展しました。

誘致から20年を迎え、これまでの足跡をたどるとともに、これまで多くの優秀な卒業生を輩出してきた看護福祉大学の魅力を特集します。



問 教育総務課
☎43-7111

大学誘致運動から20年の歩み

平成3年9月	秋田短期大学誘致促進期成同盟会設立 平成4年4月、県立東高校が大館南高校と統合することから、その跡地活用が契機となり、県北で初めての大学誘致運動が盛り上がる。その後、電車通学などの利便性から、清水町にあった職業訓練校跡地が建設場所に決定。） 学校法人秋田経済法科大学（現ノースアジア大学）が秋田桂城短期大学設置認可取得
平成6年12月	校舎建築工事着工 周辺では学生向けアパートの建設ラッシュが始まり、平成7年の着工件数は、例年の3〜4倍となる50件を記録。 秋田県北地区高等教育機関設置協力会伊藤碩彦会長 当時）が中心になって寄附を募り、募金額は空前絶後の6億円に迫る。
平成7年1月	校舎竣工
平成7年	秋田桂城短期大学開学（地域社会・看護・人間福祉学科開設） ※看護学科は、秋田経済法科大学としては初挑戦であったが、県北の看護師養成拠点として県のバックアップを受ける。
平成8年3月	少子化による大学の募集定員割れの時代を迎え、短大離れが急速に進行。また、より高度な看護や福祉を担う人材養成が急務になっていたことから、4年制大学への改組を決断。
平成8年4月	秋田看護福祉大学設置認可
平成15年	秋田看護福祉大学看護福祉学部看護学科、社会福祉学科開設
平成16年11月	市と秋田看護福祉大学の連携協定を締結し、保健・医療・福祉の推進を目指す。
平成17年4月	これまでの卒業生数が、短期大学時代（平成9年〜18年度卒）の1154人に、4年生大学になつてからの258人を加えて、計1412人となる。
平成20年10月	
平成23年3月	



大学公開講座



完成した校舎の内部



建設中の校舎